

# 九電は住民説明会開催を



## 川内再稼働やめよ

### 市民団体が経産省に要請

九州電力が8月にも再稼働（鹿児島県薩摩川内市）をめぐる、働を狙う川内原発（鹿児島県）鹿児島の市民団体「スト

山積みの署名を前に、経産省（手前）へ要請書を手渡す要請団と国会議員ら1129日、参院議員会館

アップ再稼働！ 3・11鹿児島集行委員会」のメンバーらが29日、国会内で、経済産業省と交渉しました。地域住民や地方議会が求める住民説明会を開くよ

う九電に指導することや、川内原発の再稼働を断念することを要請しました。

九電は「再稼働に当たって住民の理解と協力が必須」としながら、これまで一度も住民説明会を開いていません。同実行委は3月から、九電と3回交渉していますが、九電は拒否しています。

市民団体はこの日、九電に住民説明会開催を求める署名11万人分が入った段ボール12箱を前に、「この声を受け止め、監督省庁とし

て九電を指導すべきだ」と訴えました。

対応した資源エネルギー庁側は「九電による説明の仕方は、九電の責任。国から『住民説明会をやりなさい』と、九電の方針を超えた指導は難しい」と無責任な対応に終始しました。

昨年11月以降、鹿児島、熊本、宮崎3県の10市町議会が、九電に説明会の開催を求める決議や陳情を採択。メンバーは「地方議会の決議は重い。住民の総意だ」と強調し、日本共産党の松崎真琴鹿児島県議は「国は、九電ではなく、住民の立場に立って説明会を開かせてほしい」と迫りました。

要請には、日本共産党の赤嶺政賢、笠井亮、田村貴昭、藤野保史、真島省三の各衆院議員と吉良よし子参院議員、民主、社民両党の国会議員が参加しました。